

◎視聴覚的実演に関する北京条約

(略称) 視聴覚的実演北京条約

二〇一二年	六月	二四日	北京で採択
二〇二〇年	四月	二八日	効力発生
二〇一四年	五月	二二日	国会承認
二〇一四年	六月	一〇日	加入の閣議決定
二〇一四年	六月	一〇日	加入書寄託
二〇二〇年	四月	二八日	公布(条約第一号)
二〇二〇年	四月	二八日	告示(外務省告示第一六五号)
二〇二〇年	四月	二八日	我が国について効力発生

目次

ページ

前文	七
第一条 他の条約との関係	七
第二条 定義	七
第三条 保護の受益者	八
第四条 内国民待遇	八
第五条 人格権	八
第六条 実演家の固定されていない実演に関する財産的権利	九
第七条 複製権	九

第八條	讓渡權	一〇
第九條	貸与權	一〇
第十條	固定された実演の利用可能化權	一〇
第十一條	放送及び公衆への伝達に関する權利	一〇
第十二條	權利の移転	一一
第十三條	制限及び例外	一一
第十四條	保護期間	一二
第十五條	技術的手段に関する義務	一二
第十六條	權利管理情報に関する義務	一二
第十七條	方式	一三
第十八條	留保及び通告	一三
第十九條	適用期間	一三
第二十條	權利行使の確保に関する規定	一四
第二十一條	総会	一四
第二十二條	国際事務局	一五
第二十三條	この条約の締約国となる資格	一五
第二十四條	この条約に基づく權利及び義務	一六
第二十五條	この条約の署名	一六
第二十六條	この条約の効力発生	一六
第二十七條	締約国についてこの条約の効力が生ずる日	一六
第二十八條	この条約の廃棄	一六
第二十九條	この条約の言語	一七

第三十条 寄託者……………一七

目次

前文
第一条 他の条約との関係
第二条 定義
第三条 保護の受益者
第四条 内国民待遇
第五条 人格権
第六条 実演家の固定されていない実演に関する財産的権利
第七条 複製権
第八条 譲渡権
第九条 貸与権
第十条 固定された実演の利用可能化権
第十一条 放送及び公衆への伝達に関する権利
第十二条 権利の移転
第十三条 制限及び例外
第十四条 保護期間
第十五条 技術的手段に関する義務
第十六条 権利管理情報に関する義務
第十七条 方式
第十八条 留保及び通告
第十九条 適用期間
第二十条 権利行使の確保に関する規定
第二十一条 総会
第二十二条 国際事務局

Beijing Treaty on Audiovisual Performances

CONTENTS

Preamble
Article 1: Relation to Other Conventions and Treaties
Article 2: Definitions
Article 3: Beneficiaries of Protection
Article 4: National Treatment
Article 5: Moral Rights
Article 6: Economic Rights of Performers in their Unfixed Performances
Article 7: Right of Reproduction
Article 8: Right of Distribution
Article 9: Right of Rental
Article 10: Right of Making Available of Fixed Performances
Article 11: Right of Broadcasting and Communication to the Public
Article 12: Transfer of Rights
Article 13: Limitations and Exceptions
Article 14: Term of Protection
Article 15: Obligations concerning Technological Measures
Article 16: Obligations concerning Rights Management Information
Article 17: Formalities
Article 18: Reservations and Notifications
Article 19: Application in Time
Article 20: Provisions on Enforcement of Rights
Article 21: Assembly
Article 22: International Bureau

視聽覚的実演北京条約

- 第二十三条 この条約の締約国となる資格
- 第二十四条 この条約に基づく権利及び義務
- 第二十五条 この条約の署名
- 第二十六条 この条約の効力発生
- 第二十七条 締約国についてこの条約の効力が生ずる日
- 第二十八条 この条約の廃棄
- 第二十九条 この条約の言語
- 第三十条 寄託者

前文

締約国は、
視聽覚的実演に関する実演家の権利の保護をできる限り効果的かつ統一的に発展させ、及び維持することを希望し、
世界的所有権機関を設立する条約の一般総会により二千七年に採択され、開発に関する考慮が同機関の活動の不可分の一部を成すことを確保することを目的とする開発のためのアジェンダの勧告の重要性を想起し、
経済的、社会的、文化的及び技術的發展によって生ずる問題について適当な解決策を与えるため、新たな国際的な規則を導入する必要があることを認め、
情報及び通信に関する技術の発展及び融合が視聽覚的実演の生産及び利用に重大な影響を与えることを認め、
視聽覚的実演に関する実演家の権利と特に教育、研究及び情報の入手のような広範な公共の利益との間の均衡を保つ必要があることを認め、
千九百九十六年十二月二十日にジュネーブで作成された実演及びレコードに関する世界的所有権機関条約が視聽覚的固定物に固定された実演に関して実演家に保護を及ぼしていないことを認め、

- Article 23: Eligibility for Becoming Party to the Treaty
- Article 24: Rights and Obligations under the Treaty
- Article 25: Signature of the Treaty
- Article 26: Entry into Force of the Treaty
- Article 27: Effective Date of Becoming Party to the Treaty
- Article 28: Denunciation of the Treaty
- Article 29: Languages of the Treaty
- Article 30: Depositary

Preamble

The Contracting Parties,
Desiring to develop and maintain the protection of the rights of performers in their audiovisual performances in a manner as effective and uniform as possible,
Recalling the importance of the Development Agenda recommendations adopted in 2007 by the General Assembly of the Convention Establishing the World Intellectual Property Organization (WIPO), which aim to ensure that development considerations form an integral part of the Organization's work,
Recognizing the need to introduce new international rules in order to provide adequate solutions to the questions raised by economic, social, cultural and technological developments,
Recognizing the profound impact of the development and convergence of information and communication technologies on the production and use of audiovisual performances,
Recognizing the need to maintain a balance between the rights of performers in their audiovisual performances and the larger public interest, particularly education, research and access to information,
Recognizing that the WIPO Performances and Phonograms Treaty (WPPT) done in Geneva on December 20, 1996, does not extend protection to performers in respect of their performances fixed in audiovisual fixations,

他の条約との関係

千九百九十六年十二月二十日のある種の著作権及び著作隣接権の問題に関する外交会議において採択された視聴覚的実演に関する決議に言及して、

次のとおり協定した。

第一条 他の条約との関係

(1) この条約のいかなる規定も、実演及びレコードに関する世界的所有権機関条約又は千九百六十一年十月二十六日にローマで作成された実演家、レコード製作者及び放送機関の保護に関する国際条約に基づく既存の義務であって締約国が相互に負うものを免れさせるものではない。

(2) この条約に基づいて与えられる保護は、文学的及び美術的著作物の著作権の保護に変更を加えるものではなく、また、いかなる影響も及ぼすものではない。したがって、この条約のいずれの規定も、これらの著作権の保護を害するものと解することはできない。

(3) この条約は、実演及びレコードに関する世界的所有権機関条約以外の条約といかなる関係も有するものではなく、また、この条約以外の条約に基づくいかなる権利及び義務にも影響を及ぼすものではない。

第二条 定義

この条約の適用上、

(a) 「実演家」とは、俳優、歌手、演奏家、舞踊家その他文学的若しくは美術的著作物又は民間伝承の表現を上演し、歌唱し、口演し、朗詠し、演奏し、演出し、又はその他の方法によって実演する者をいう。

(b) 「視聴覚的固定物」とは、動く影像（音又は音を表すものを伴うか否かを問わない。）の収録物であって、装置を用いることにより知覚し、再生し、又は伝達することができるものをいう。

(c) 「放送」とは、公衆によって受信されることを目的とする無線による音の送信、影像の送信、影像及び音の送信又はこれらを表すものの送信をいう。衛星によるこれらの送信も「放送」である。暗号化された信号の送信は、暗号解除の手段が放送機関により又はその同意を得て公衆に提供される場合には、「放送」である。

視聴覚的実演北京条約

Referring to the Resolution concerning Audiovisual Performances adopted by the Diplomatic Conference on Certain Copyright and Neighboring Rights Questions on December 20, 1996,

Have agreed as follows:

Article 1 Relation to Other Conventions and Treaties

(1) Nothing in this Treaty shall derogate from existing obligations that Contracting Parties have to each other under the WPPT or the International Convention for the Protection of Performers, Producers of Phonograms and Broadcasting Organizations done in Rome on October 26, 1961.

(2) Protection granted under this Treaty shall leave intact and shall in no way affect the protection of copyright in literary and artistic works. Consequently, no provision of this Treaty may be interpreted as prejudicing such protection.

(3) This Treaty shall not have any connection with treaties other than the WPPT, nor shall it prejudice any rights and obligations under any other treaties.

Article 2 Definitions

For the purposes of this Treaty:

(a) "performers" are actors, singers, musicians, dancers, and other persons who act, sing, deliver, declaim, play in, interpret, or otherwise perform literary or artistic works or expressions of folklore;

(b) "audiovisual fixation" means the embodiment of moving images, whether or not accompanied by sounds or by the representations thereof, from which they can be perceived, reproduced or communicated through a device;

(c) "broadcasting" means the transmission by wireless means for public reception of sounds or of images or of images and sounds or of the representations thereof, such transmission by satellite is also "broadcasting"; transmission of encrypted signals is "broadcasting" where the means for decrypting are provided to the public by the broadcasting organization or with its consent;

視聽覚的実演北京条約

(d) 実演の「公衆への伝達」とは、固定されていない実演又は視聽覚的固定物に固定された実演を放送以外の媒体により公衆に送信することをいう。第十一条の規定の適用上、「公衆への伝達」は、視聽覚的固定物に固定された実演を公衆が見ること若しくは聴くこと又はその双方を行うことができるようにすることを含む。

第三条 保護の受益者

(1) 締約国は、他の締約国の国民である実演家に対して、この条約に基づいて認められる保護を与える。

(2) いずれの締約国の国民でもない実演家であつていずれかの締約国に常居所を有するものは、この条約の適用上、当該いずれかの締約国の国民とみなす。

第四条 内国民待遇

(1) 各締約国は、この条約において特に与えられる排他的権利及び第十一条に規定する衡平な報酬を請求する権利に関して自国民に与える待遇を、他の締約国の国民に与える。

(2) 締約国は、第十一条(1)及び(2)において与えられる権利に関し、この条の(1)の規定に基づき他の締約国の国民に与えられる保護の程度及び期間を、自国の国民が当該他の締約国において享有するそれらの権利と同等のものにまで限定することができる。

(3) (1)に規定する義務は、一の締約国について、他の締約国が第十一条(3)の規定によつて認められている留保を付する場合には、その留保の範囲において適用せず、また、当該一の締約国が当該留保を付している場合にも、その留保の範囲において適用しない。

第五条 人格権

(1) 実演家は、その財産的権利とは別個に、当該財産的権利が移転された後においても、現に行っている実演及び視聽覚的固定物に固定された実演に関して、次の権利を有する。

(d) "communication to the public" of a performance means the transmission to the public by any medium, otherwise than by broadcasting, of an unfixed performance, or of a performance fixed in an audiovisual fixation. For the purposes of Article 11, "communication to the public" includes making a performance fixed in an audiovisual fixation audible or visible or audible and visible to the public.

Article 3

Beneficiaries of Protection

(1) Contracting Parties shall accord the protection granted under this Treaty to performers who are nationals of other Contracting Parties.

(2) Performers who are not nationals of one of the Contracting Parties but who have their habitual residence in one of them shall, for the purposes of this Treaty, be assimilated to nationals of that Contracting Party.

Article 4

National Treatment

(1) Each Contracting Party shall accord to nationals of other Contracting Parties the treatment it accords to its own nationals with regard to the exclusive rights specifically granted in this Treaty and the right to equitable remuneration provided for in Article 11 of this Treaty.

(2) A Contracting Party shall be entitled to limit the extent and term of the protection accorded to nationals of another Contracting Party under paragraph (1), with respect to the rights granted in Article 11(1) and 11(2) of this Treaty, to those rights that its own nationals enjoy in that other Contracting Party.

(3) The obligation provided for in paragraph (1) does not apply to a Contracting Party to the extent that another Contracting Party makes use of the reservations permitted by Article 11(3) of this Treaty, nor does it apply to a Contracting Party, to the extent that it has made such reservation.

Article 5

Moral Rights

(1) Independently of a performer's economic rights, and even after the transfer of those rights, the performer shall, as regards his live performances or performances fixed in audiovisual fixations, have the right:

(i) これらの実演に係る実演家であることを主張する権利（これらの実演を利用する態様により削除することややむを得ない場合を除く。）

(ii) これらの実演の変更、切除その他の改変で、視聴覚的固定物の性質を十分に踏まえた上で自己の声望を害するおそれのあるものに対して、異議を申し立てる権利

(2) (1)の規定に基づいて実演家に認められる権利は、実演家の死後においても、少なくとも財産的権利が消滅するまで存続するものとし、保護が要求される締約国の法令により資格を与えられる人又は団体は、当該権利を行使することができるものとする。もっとも、この条約の批准又はこれへの加入の時に効力を有する法令において、(1)の規定に基づいて認められる権利の全てについて実演家の死後における保護を確保することを定めていない締約国は、それらの権利のうち一部の権利が実演家の死後は存続しないことを定めることができる。

(3) この条の規定に基づいて認められる権利を保全するための救済の方法は、保護が要求される締約国の法令の定めるところによる。

第六条 実演家の固定されていない実演に関する財産的権利

実演家は、その実演に関して、次のことを許諾する排他的権利を享有する。

(i) 固定されていない実演の放送又は公衆への伝達を行うこと（実演が既に放送されたものである場合を除く。）。

(ii) 固定されていない実演を固定すること。

第七条 複製権

実演家は、視聴覚的固定物に固定されたその実演について、直接又は間接に複製すること（その方法及び形式のいかんを問わない。）を許諾する排他的権利を享有する。

(i) to claim to be identified as the performer of his performances, except where omission is dictated by the manner of the use of the performance; and

(ii) to object to any distortion, mutilation or other modification of his performances that would be prejudicial to his reputation, taking due account of the nature of audiovisual fixations.

(2) The rights granted to a performer in accordance with paragraph (1) shall, after his death, be maintained, at least until the expiry of the economic rights, and shall be exercisable by the persons or institutions authorized by the legislation of the Contracting Party where protection is claimed. However, those Contracting Parties whose legislation, at the moment of their ratification of or accession to this Treaty, does not provide for protection after the death of the performer of all rights set out in the preceding paragraph may provide that some of these rights will, after his death, cease to be maintained.

(3) The means of redress for safeguarding the rights granted under this Article shall be governed by the legislation of the Contracting Party where protection is claimed.

Article 6

Economic Rights of Performers in their Unfixed Performances

Performers shall enjoy the exclusive right of authorizing, as regards their performances:

(i) the broadcasting and communication to the public of their unfixed performances except where the performance is already a broadcast performance; and

(ii) the fixation of their unfixed performances.

Article 7

Right of Reproduction

Performers shall enjoy the exclusive right of authorizing the direct or indirect reproduction of their performances fixed in audiovisual fixations, in any manner or form.

視聽覚的実演北京条約

譲渡権

第八条 譲渡権

- (1) 実演家は、視聽覚的固定物に固定されたその実演の原作品及び複製物について、販売その他の譲渡による公衆への供与を許諾する排他的権利を享有する。
- (2) この条約のいかなる規定も、固定された実演の原作品又は複製物の販売その他の譲渡（実演家の許諾を得たものに限り。）が最初に行われた後における(1)の権利の消尽について、締約国が自由にその条件を定めることを妨げるものではない。

貸与権

第九条 貸与権

- (1) 実演家は、実演家自身による又は実演家の許諾に基づく譲渡の後も、締約国の国内法令の定めるところにより、視聽覚的固定物に固定されたその実演の原作品及び複製物について、公衆への商業的貸与を許諾する排他的権利を享有する。
- (2) 締約国は、商業的貸与が実演家の排他的複製権を著しく侵害するような視聽覚的固定物の広範な複製をもたらしていない場合には、(1)の義務を免除される。

第十条 固定された実演の利用可能化権

実演家は、視聽覚的固定物に固定されたその実演について、有線又は無線の方法により、公衆のそれぞれが選択する場所及び時期において利用が可能となるような状態に置くことを許諾する排他的権利を享有する。

第十一条 放送及び公衆への伝達に関する権利

- (1) 実演家は、視聽覚的固定物に固定されたその実演について、放送又は公衆への伝達を許諾する排他的権利を享有する。
- (2) 締約国は、(1)に規定する許諾の権利の代わりに、視聽覚的固定物に固定された実演を放送又は公衆への伝達のために直接又は間接に利用することについて衡平な報酬を請求する権利を設定すること。世界知的所有権機関事務局長に寄託する通告において、宣言することができ。締約国は、また、当該衡平な報

Article 8
Right of Distribution

- (1) Performers shall enjoy the exclusive right of authorizing the making available to the public of the original and copies of their performances fixed in audiovisual fixations through sale or other transfer of ownership.
- (2) Nothing in this Treaty shall affect the freedom of Contracting Parties to determine the conditions, if any, under which the exhaustion of the right in paragraph (1) applies after the first sale or other transfer of ownership of the original or a copy of the fixed performance with the authorization of the performer.

Article 9
Right of Rental

- (1) Performers shall enjoy the exclusive right of authorizing the commercial rental to the public of the original and copies of their performances fixed in audiovisual fixations as determined in the national law of Contracting Parties, even after distribution of them by, or pursuant to, authorization by the performer.
- (2) Contracting Parties are exempt from the obligation of paragraph (1) unless the commercial rental has led to widespread copying of such fixations materially impairing the exclusive right of reproduction of performers.

Article 10
Right of Making Available of Fixed Performances

Performers shall enjoy the exclusive right of authorizing the making available to the public of their performances fixed in audiovisual fixations, by wire or wireless means, in such a way that members of the public may access them from a place and at a time individually chosen by them.

Article 11
Right of Broadcasting and Communication to the Public

- (1) Performers shall enjoy the exclusive right of authorizing the broadcasting and communication to the public of their performances fixed in audiovisual fixations.
- (2) Contracting Parties may in a notification deposited with the Director General of WIPO declare that, instead of the right of authorization provided for in paragraph (1), they will establish a right to equitable remuneration for the direct or indirect use of performances fixed in audiovisual fixations for broadcasting or for communication to

放送及び公衆への伝達に関する権利

固定された実演の利用可能化権

権利の移
転

酬を請求する権利の行使に関する条件を自国の法令において定めることができる。

- (3) いずれの締約国も、(1)若しくは(2)の規定を特定の利用についてのみ適用すること、当該規定の適用を他の方法により制限すること又は(1)及び(2)の規定を適用しないことを、宣言することができる。

第十二条 権利の移転

- (1) 締約国は、自国の国内法令において、実演家がその実演を視聴覚的固定物に固定することを同意した場合には、当該国内法令の定めるところにより実演家と当該視聴覚的固定物の製作者との間で締結される契約に別段の定めがない限り、第七条から前条までに規定する排他的な許諾の権利について、当該製作者が有し、若しくは行使すること又は当該製作者に移転することを定めることができる。

- (2) 締約国は、自国の国内法令に基づいて製作される視聴覚的固定物に関し、(1)に規定する同意又は契約が書面によるものであること及び契約の両当事者又はその正当な委任を受けた代理人により署名されることを要件とすることができる。

- (3) (1)に規定する排他的な許諾の権利の移転にかかわらず、実演家に対し、(この条約（特に前二条））定めるところにより実演の利用についてロイヤルティ又は衡平な報酬を受け取る権利を、国内法令又は個別の、共同の若しくはその他の契約によって与えることができる。

第十三条 制限及び例外

- (1) 締約国は、実演家の保護に関して、文学的及び美術的著作物の著作権の保護について国内法令に定めるものと同一の種類の制限又は例外を国内法令において定めることができる。

- (2) 締約国は、この条約に定める権利の制限又は例外を、実演の通常の利用を妨げず、かつ、実演家の正当な利益を不当に害しない特別な場合に限定する。

the public. Contracting Parties may also declare that they will set conditions in their legislation for the exercise of the right to equitable remuneration.

- (3) Any Contracting Party may declare that it will apply the provisions of paragraphs (1) or (2) only in respect of certain uses, or that it will limit their application in some other way, or that it will not apply the provisions of paragraphs (1) and (2) at all.

Article 12
Transfer of Rights

- (1) A Contracting Party may provide in its national law that once a performer has consented to fixation of his or her performance in an audiovisual fixation, the exclusive rights of authorization provided for in Articles 7 to 11 of this Treaty shall be owned or exercised by or transferred to the producer of such audiovisual fixation subject to any contract to the contrary between the performer and the producer of the audiovisual fixation as determined by the national law.

- (2) A Contracting Party may require with respect to audiovisual fixations produced under its national law that such consent or contract be in writing and signed by both parties to the contract or by their duly authorized representatives.

- (3) Independent of the transfer of exclusive rights described above, national laws or individual, collective or other agreements may provide the performer with the right to receive royalties or equitable remuneration for any use of the performance, as provided for under this Treaty including as regards Articles 10 and 11.

Article 13
Limitations and Exceptions

- (1) Contracting Parties may, in their national legislation, provide for the same kinds of limitations or exceptions with regard to the protection of performers as they provide for, in their national legislation, in connection with the protection of copyright in literary and artistic works.

- (2) Contracting Parties shall confine any limitations of or exceptions to rights provided for in this Treaty to certain special cases which do not conflict with a normal exploitation of the performance and do not unreasonably prejudice the legitimate interests of the performer.

制限及び
例外

視聽覚的実演北京条約

保護期間

第十四条 保護期間

この条約に基づいて実演家に与えられる保護期間は、実演が固定された年の終わりにから少なくとも五十年とする。

第十五条 技術的手段に関する義務

締約国は、実演家によって許諾されておらず、かつ、法令で許容されていない行為がその実演について実行されることを抑制するための効果的な技術的手段であって、この条約に基づく権利の行使に関連して当該実演家が利用するものに關し、そのような技術的手段の回避を防ぐための適当な法的保護及び効果的な法的救済について定める。

第十六条 権利管理情報に関する義務

(1) 締約国は、この条約が対象とする権利の侵害を誘引し、可能にし、助長し、又は隠す結果となることを知りながら次に掲げる行為を故意に行う者がある場合に関し、適当かつ効果的な法的救済について定める。さらに、民事上の救済については、そのような結果となることを知ることができる合理的な理由を有しながら次に掲げる行為を故意に行う者がある場合に関しても、これを定める。

(i) 電磁的な権利管理情報を権限なく除去し、又は改変すること。

(ii) 電磁的な権利管理情報が権限なく除去され、又は改変されたことを知りながら、実演又は視聽覚的固定物に固定された実演の複製物を権限なく頒布し、頒布のために輸入し、放送し、公衆に伝達し、又は公衆による利用が可能となる状態に置くこと。

(2) この条において「権利管理情報」とは、実演家、実演家の実演若しくは実演に係る権利を有する者を特定する情報又は実演の利用に係る情報及びこれらの情報を表す数字又は符号をいう。ただし、これらの項目の情報が視聽覚的固定物に固定された実演に付される場合に限る。

Article 14
Term of Protection

The term of protection to be granted to performers under this Treaty shall last, at least, until the end of a period of 50 years computed from the end of the year in which the performance was fixed.

Article 15
Obligations concerning Technological Measures

Contracting Parties shall provide adequate legal protection and effective legal remedies against the circumvention of effective technological measures that are used by performers in connection with the exercise of their rights under this Treaty and that restrict acts, in respect of their performances, which are not authorized by the performers concerned or permitted by law.

Article 16
Obligations concerning Rights Management Information

(1) Contracting Parties shall provide adequate and effective legal remedies against any person knowingly performing any of the following acts knowing, or with respect to civil remedies having reasonable grounds to know, that it will induce, enable, facilitate, or conceal an infringement of any right covered by this Treaty:

(i) to remove or alter any electronic rights management information without authority;

(ii) to distribute, import for distribution, broadcast, communicate or make available to the public, without authority, performances or copies of performances fixed in audiovisual fixations knowing that electronic rights management information has been removed or altered without authority.

(2) As used in this Article, "rights management information" means information which identifies the performer, the performance of the performer, or the owner of any right in the performance, or information about the terms and conditions of use of the performance, and any numbers or codes that represent such information, when any of these items of information is attached to a performance fixed in an audiovisual fixation.

権利管理
情報に関
する義務

技術的手
段に関す
る義務

第十七条 方式

この条約に定める権利の享有及び行使には、いかなる方式の履行も要しない。

第十八条 留保及び通告

- (1) 第十一条(3)の規定が適用される場合を除くほか、この条約には、いかなる留保も付することができない。
- (2) 第十一条(2)又は次条(2)の規定に基づく通告は、批准書又は加入書において行うことができるものとし、その効力は、当該通告を行った締約国についてこの条約が効力を生ずる日に生ずる。この通告は、その後においても行うことができるものとし、この場合には、当該通告は、世界的所有権機関事務局長が当該通告を受領した後三箇月で又は当該通告において指定されたそれ以降の日に効力を生ずる。

第十九条 適用期間

- (1) 締約国は、この条約が各締約国について効力を生ずる時に存在する固定された実演及びこの条約が各締約国について効力を生じた後に行われる全ての実演に対して、この条約に基づいて認められる保護を与える。
- (2) (1)の規定にかかわらず、締約国は、この条約が各締約国について効力を生ずる時に存在する固定された実演については、第七条から第十一条までの規定又はこれらの規定のうち一若しくは二以上の規定を適用しないことを、世界的所有権機関事務局長に寄託する通告において、宣言することができる。他の締約国は、その宣言を行った締約国に関し、その宣言を行った規定の適用の対象を、この条約が当該宣言を行った締約国について効力を生じた後に行われた実演に限定することができる。
- (3) この条約に規定する保護は、この条約が各締約国について効力を生ずる前に行われた行為、締結された契約又は取得された権利に影響を及ぼすものではない。

Article 17
Formalities

The enjoyment and exercise of the rights provided for in this Treaty shall not be subject to any formality.

Article 18
Reservations and Notifications

- (1) Subject to provisions of Article 11(3), no reservations to this Treaty shall be permitted.
- (2) Any notification under Article 11(2) or 19(2) may be made in instruments of ratification or accession, and the effective date of the notification shall be the same as the date of entry into force of this Treaty with respect to the Contracting Party having made the notification. Any such notification may also be made later, in which case the notification shall have effect three months after its receipt by the Director General of WIPO or at any later date indicated in the notification.

Article 19
Application in Time

- (1) Contracting Parties shall accord the protection granted under this Treaty to fixed performances that exist at the moment of the entry into force of this Treaty and to all performances that occur after the entry into force of this Treaty for each Contracting Party.
- (2) Notwithstanding the provisions of paragraph (1), a Contracting Party may declare in a notification deposited with the Director General of WIPO that it will not apply the provisions of Articles 7 to 11 of this Treaty, or any one or more of those, to fixed performances that existed at the moment of the entry into force of this Treaty for each Contracting Party. In respect of such Contracting Party, other Contracting Parties may limit the application of the said Articles to performances that occurred after the entry into force of this Treaty for that Contracting Party.
- (3) The protection provided for in this Treaty shall be without prejudice to any acts committed, agreements concluded or rights acquired before the entry into force of this Treaty for each Contracting Party.

(4) 締約国は、この条約が効力を生ずる前に実演について適法な行為を行った者が、この条約が当該締約国について効力を生じた後に、同じ実演について第五条及び第七条から第十一条までに規定する権利の対象となる行為を行うことができるよう、国内法令において経過規定を定めることができる。

第二十条 権利行使の確保に関する規定

(1) 締約国は、自国の法制に従い、この条約の適用を確保するために必要な措置をとることを約束する。

(2) 締約国は、この条約が対象とする権利の侵害行為に対し効果的な措置（侵害を防止するための迅速な救済措置及び追加の侵害を抑止するための救済措置を含む。）がとられることを可能にするため、権利行使を確保するための手続を国内法令に基づいて確保する。

第二十一条 総会

(1) (a) 締約国は、総会を設置する。

(b) 各締約国は、総会において、一人の代表によって代表されるものとし、代表は、代表代理、顧問及び専門家の補佐を受けることができる。

(c) 各代表団の費用は、その代表団を任命した締約国が負担する。総会は、世界的所有権機関に対し、国際連合総会の確立された慣行に従って開発途上国とされている締約国及び市場経済への移行過程にある締約国の代表の参加を容易にするために財政的援助を与えることを要請することができる。

(2) (a) 総会は、この条約の存続及び発展並びにこの条約の適用及び運用に関する問題を取り扱う。

(b) 総会は、政府間機関が締約国となることへの承認に関し、第二十三条(2)の規定により与えられる任務を遂行する。

(4) Contracting Parties may in their legislation establish transitional provisions under which any person who, prior to the entry into force of this Treaty, engaged in lawful acts with respect to a performance, may undertake with respect to the same performance acts within the scope of the rights provided for in Articles 5 and 7 to 11 after the entry into force of this Treaty for the respective Contracting Parties.

Article 20

Provisions on Enforcement of Rights

(1) Contracting Parties undertake to adopt, in accordance with their legal systems, the measures necessary to ensure the application of this Treaty.

(2) Contracting Parties shall ensure that enforcement procedures are available under their law so as to permit effective action against any act of infringement of rights covered by this Treaty, including expeditious remedies to prevent infringements and remedies which constitute a deterrent to further infringements.

Article 21

Assembly

(1)

(a) The Contracting Parties shall have an Assembly.

(b) Each Contracting Party shall be represented in the Assembly by one delegate who may be assisted by alternate delegates, advisors and experts.

(c) The expenses of each delegation shall be borne by the Contracting Party that has appointed the delegation. The Assembly may ask WIPO to grant financial assistance to facilitate the participation of delegations of Contracting Parties that are regarded as developing countries in conformity with the established practice of the General Assembly of the United Nations or that are countries in transition to a market economy.

(2)

(a) The Assembly shall deal with matters concerning the maintenance and development of this Treaty and the application and operation of this Treaty.

(b) The Assembly shall perform the function allocated to it under Article 23(2) in respect of the admission of certain intergovernmental organizations to become party to this Treaty.

(c) 総会は、この条約の改正のための外交会議の招集を決定し、当該外交会議の準備のために世界知的所有権機関事務局長に対して必要な指示を与える。

(3) (a) 国である締約国は、それぞれ一の票を有し、自国の名においてのみ投票する。

(b) 政府間機関である締約国は、当該政府間機関の構成国でこの条約の締約国である国の総数に等しい数の票により、当該構成国に代わって投票に参加することができる。当該政府間機関は、当該構成国のいずれかが自国の投票権を行使する場合には、投票に参加してはならない。また、当該政府間機関が自らの投票権を行使する場合には、当該構成国のいずれも投票に参加してはならない。

(4) 総会は、世界知的所有権機関事務局長の招集により会合するものとし、例外的な場合を除くほか、世界的所有権機関の一般総会と同一期間中に同一の場所において会合する。

(5) 総会は、コンセンサス方式により決定を行うよう努めるものとし、臨時会期の招集、定足数、種々の決定を行う際に必要とされる多数（この条約の規定に従うことを条件とする。）その他の事項について手続規則を定める。

第二十二条 国際事務局

世界知的所有権機関国際事務局は、この条約の管理業務を行う。

第二十三条 この条約の締約国となる資格

(1) 世界知的所有権機関の加盟国は、この条約の締約国となることができる。

(2) 総会は、この条約が対象とする事項に関し権限を有し、及び当該事項に関しその全ての構成国を拘束する自らの法制を有する旨並びにこの条約の締結につきその内部手続に従って正当に委任を受けている旨を宣言する政府間機関が、この条約の締約国となることを認める決定を行うことができる。

(c) The Assembly shall decide the convocation of any diplomatic conference for the revision of this Treaty and give the necessary instructions to the Director General of WIPO for the preparation of such diplomatic conference.

(3)

(a) Each Contracting Party that is a State shall have one vote and shall vote only in its own name.

(b) Any Contracting Party that is an intergovernmental organization may participate in the vote, in place of its Member States, with a number of votes equal to the number of its Member States which are party to this Treaty. No such intergovernmental organization shall participate in the vote if any one of its Member States exercises its right to vote and vice versa.

(4) The Assembly shall meet upon convocation by the Director General and, in the absence of exceptional circumstances, during the same period and at the same place as the General Assembly of WIPO.

(5) The Assembly shall endeavor to take its decisions by consensus and shall establish its own rules of procedure, including the convocation of extraordinary sessions, the requirements of a quorum and, subject to the provisions of this Treaty, the required majority for various kinds of decisions.

Article 22

International Bureau

The International Bureau of WIPO shall perform the administrative tasks concerning the Treaty.

Article 23

Eligibility for Becoming Party to the Treaty

(1) Any Member State of WIPO may become party to this Treaty.

(2) The Assembly may decide to admit any intergovernmental organization to become party to this Treaty which declares that it is competent in respect of, and has its own legislation binding on all its Member States on, matters covered by this Treaty and that it has been duly authorized, in accordance with its internal procedures, to become party to this Treaty.

(3) 欧州連合は、この条約を採択した外交会議において(2)に規定する宣言を行っており、この条約の締約国となることができる。

第二十四条 この条約に基づく権利及び義務

各締約国は、この条約に別段の定めがある場合を除くほか、この条約に基づく全ての権利を享有し、全ての義務を負う。

第二十五条 この条約の署名

この条約は、その採択の後一年間、世界知的所有権機関の本部において、この条約の締約国となる資格を有する国による署名のために開放しておく。

第二十六条 この条約の効力発生

この条約は、第二十三条に規定するこの条約の締約国となる資格を有する国のうち三十の国が批准書又は加入書を寄託した後三箇月で効力を生ずる。

第二十七条 締約国についてこの条約の効力が生ずる日

この条約は、次に掲げる日からこの条約の締約国となる資格を有する国を拘束する。

(i) 前条に規定するこの条約の締約国となる資格を有する三十の国については、この条約が効力を生じた日

(ii) (i)の国以外の第二十三条に規定するこの条約の締約国となる資格を有する国については、当該国が世界知的所有権機関事務局長に批准書又は加入書を寄託した日から三箇月の期間が満了した日

第二十八条 この条約の廃棄

いずれの締約国も、世界知的所有権機関事務局長に宛てた通告により、この条約を廃棄することができる。廃棄は、同事務局長がその通告を受領した日から一年で効力を生ずる。

(3) The European Union, having made the declaration referred to in the preceding paragraph in the Diplomatic Conference that has adopted this Treaty, may become party to this Treaty.

Article 24
Rights and Obligations under the Treaty

Subject to any specific provisions to the contrary in this Treaty, each Contracting Party shall enjoy all of the rights and assume all of the obligations under this Treaty.

Article 25
Signature of the Treaty

This Treaty shall be open for signature at the headquarters of WIPO by any eligible party for one year after its adoption.

Article 26
Entry into Force of the Treaty

This Treaty shall enter into force three months after 30 eligible parties referred to in Article 23 have deposited their instruments of ratification or accession.

Article 27
Effective Date of Becoming Party to the Treaty

This Treaty shall bind:

(i) the 30 eligible parties referred to in Article 26, from the date on which this Treaty has entered into force;

(ii) each other eligible party referred to in Article 23, from the expiration of three months from the date on which it has deposited its instrument of ratification or accession with the Director General of WIPO.

Article 28
Denunciation of the Treaty

This Treaty may be denounced by any Contracting Party by notification addressed to the Director General of WIPO. Any denunciation shall take effect one year from the date on which the Director General of WIPO received the notification.

この条約
に基づく
権利及び
義務

この条約
の署名

この条約
の効力発
生

締約国に
ついてこ
の条約の
効力が生
ずる日

この条約
の廃棄

第二十九条 この条約の言語

- (1) この条約は、ひとしく正文である英語、アラビア語、中国語、フランス語、ロシア語及びスペイン語による原本一通について署名する。
- (2) 世界知的所有権機関事務局長は、いずれかの関係国の要請により、全ての関係国と協議の上、(1)に規定する言語以外の言語による公定訳文を作成する。この(2)の規定の適用上、「関係国」とは、世界知的所有権機関の加盟国であって当該公定訳文の言語をその公用語の一とするもの並びに欧州連合及びこの条約の締約国となることができる他の政府間機関であって当該公定訳文の言語をその公用語の一とするものをいう。

第三十条 寄託者

この条約の寄託者は、世界知的所有権機関事務局長とする。

Article 29
Languages of the Treaty

- (1) This Treaty is signed in a single original in English, Arabic, Chinese, French, Russian and Spanish languages, the versions in all these languages being equally authentic.
- (2) An official text in any language other than those referred to in paragraph (1) shall be established by the Director General of WIPO on the request of an interested party, after consultation with all the interested parties. For the purposes of this paragraph, "interested party" means any Member State of WIPO whose official language, or one of whose official languages, is involved and the European Union, and any other intergovernmental organization that may become party to this Treaty, if one of its official languages is involved.

Article 30
Depositary

The Director General of WIPO is the depositary of this Treaty.

（参考）

この条約は、視聽覺的実演に関し、人格権並びに複製権及び譲渡権等の財産的権利を実演家に付与するとともに、これらの権利の行使に関する法的な保護及び救済等について定めるものである。